

2022年5月18日

報道関係各位

GMO イブシロン株式会社

## スタートアップが成功するために設計されたオンライン決済インフラ フィンコード 「fincode byGMO」を正式ローンチ

GMO インターネットグループで GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（以下、GMO-PG）の連結会社である GMO イブシロン株式会社（代表取締役社長：田口 一成 以下、GMO-EP）は、日本市場においてスタートアップが成功できるように設計されたオンライン決済インフラ「fincode byGMO」（URL：<https://www.fincode.jp/>）の提供を開始いたします。

株式会社 LayerX（以下、LayerX）やユアマイスター株式会社（以下、ユアマイスター）といったスタートアップに先行採用いただきプロダクトのアップデートを重ね、本日 2022 年 5 月 18 日（水）よりすべての事業者でご利用可能となりました。

「fincode byGMO」をご利用の事業者は、オンライン上で即時アカウントを開設し、最短当日中にカード決済受付をすることが可能です（※1）。また直感的な API やローコードコンポーネントを提供するため、実装工数も削減できます。

（※1）ご利用には所定の審査が必要です。



### 【背景と概要】

日本国内における多くのスタートアップにとって、「決済」はプロダクトのコアでない馴染みの少ない領域です。そのため、新しいプロダクト・サービスを開発する際に比較検討や導入に時間を要する、実装後に機能的な不足が発生しシステム切り替えが必要になる等の課題があるのが現状です。加えて近年では、消費者が求める決済手段の種類や課金体系および決済領域を取り巻く法規制・セキュリティ基準の変化などにより、これらの課題はさらに複雑化しています。

一方、GMO-EP 含む GMO-PG はグループで、10 万店舗以上の加盟店に年間 9 兆円超の決済を処理するインフラを提供しています（2022 年 3 月末現在、連結数値）。システムの堅牢性や安全性、業界業種・規模

問わず幅広い事業者にとっての利用しやすさを重視したサービスを提供するなか、小さく早く立上げ・大きく育てるスタートアップの製品開発スタイルにはマッチしない部分もありました。

そこで、スタートアップが抱える決済領域の課題を解決すべく、これまで GMO-PG がグループで培ってきた決済におけるナレッジ・開発力、および先行採用いただいた LayerX やユアマイスターをはじめとする多くのスタートアップのエンジニア・経営層からいただいたご意見をもとに、オンライン決済インフラ「fincode byGMO」を開発いたしました。

「fincode byGMO」は、E コマースはもちろんプラットフォームやサブスクリプションなど様々なビジネスモデルに必要な決済機能を厳選して取りそろえ、オンラインビジネスを推進する上での使いやすさ・わかりやすさを追求しています。そのため、ビジネスモデルや事業フェーズを問わず、スタートアップは決済領域での課題を抱えることなく事業成長に集中することが可能です。今後も、決済手段・機能の拡充や周辺コンポーネント、融資・送金・カード発行といった FinTech ユニットの提供など、スタートアップや利用事業者の声を積極的に取り入れながら、時流に合わせた開発アセットのアップデート等を高頻度で実施してまいります。

## 【「fincode byGMO」について】

スタートアップのサービスローンチ前後に生じる決済領域の隠れた課題を網羅的に解決し、同時に、事業フェーズの進展に伴い求められる拡張的な価値をシームレスに提供するオンライン決済インフラです。

E コマースはもちろん、プラットフォーム型やサブスクリプション型の複雑で現代的なビジネスモデルに求められる機能・性能を、BtoC・BtoB・CtoC を問わず幅広くカバーしています。加えてオンラインでアクセス可能な開発支援アセットを豊富に提供し、決済とソフトウェア、そしてスタートアップビジネスに精通したカスタマーサクセスチームが、実装と運用をバックアップします。

リーンな開発が求められる PMF（Product Market Fit：プロダクトが市場のニーズを満たす状態）フェーズにおいては、「テスト環境の即時提供」「迅速な Web 審査」「決済実装未経験のエンジニアにも理解しやすいオンラインガイダンス」「開発工数を削減する SDK・UI コンポーネントの提供」などにより、リードタイム短く決済の実装が可能となり、自社プロダクトの作り込みにフォーカスいただくことが可能です。

また、グロースフェーズでは、「重要となる幅広い決済手段や多様な課金体系への対応」「増加する決済トランザクションの安定的な処理」「改善サイクルの早い法規制やセキュリティ基準への準拠」「プラットフォームにおけるテナントの登録・管理」など、ビジネスモデルに応じたユーザー基盤の強化をバックアップします。

いずれのフェーズにおいても、初期費用や月額利用料、アカウント維持費用や振込手数料などの見えないコストを徹底的に排除し、決済取引額の 3.6%のみですべての機能をご利用いただけます。

なお、対応決済手段は随時追加予定です。

## 【GMO イブシロン株式会社について】

GMO-EP は、初期費用やトランザクション処理料<sup>(※2)</sup>が無料の決済代行サービスを提供する事業者です。2022年3月末時点で、41,464店舗にのぼる EC 事業者にご利用いただいております。GMO-EP とご契約いただくだけで、決済事業者ごとにシステムを構築する必要なく、クレジットカード決済からコンビニ決済、ウォレット決済、スマートフォンキャリア決済等、さまざまな決済手段及び配送サービスを一括で利用することができるほか、購入者から回収した商品代金や配送の運賃精算も一括して行うため、手間やコストを大幅に省くことが可能です。また、EC 事業者の円滑なキャッシュフローをサポートすべく、売上連動型ビジネスカード「Cycle byGMO」、レンディングや送金サービス等の金融関連サービスも提供しています。東証プライム上場企業である GMO インターネットグループの一員であり、個人情報保護ではプライバシーマ

クの付与を受け、セキュリティ基準は PCI DSS と ISMS に準拠するなど、お客様が安心してご利用いただける環境となっております。

(※2) トランザクション処理料とは、クレジットカードのオーソリゼーション（承認番号取得）や請求等でクレジットカード会社との通信ごとにかかる料金。

以上

**【報道関係お問い合わせ先】**

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部  
TEL : 03-3464-0182  
お問い合わせフォーム：  
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

**【サービスに関するお問い合わせ先】**

- GMO イプシロン株式会社  
「fincode byGMO」サポートチーム  
お問い合わせフォーム：  
<https://dashboard.fincode.jp/contact/>

- GMO インターネット株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 寺山  
E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

**【GMO イプシロン株式会社】(URL : <https://www.epsilon.jp/>)**

会社名	GMO イプシロン株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 ヒューマックス渋谷ビル
代表者	代表取締役社長 田口 一成
事業内容	■オンライン販売の決済代行、代金回収代行及びそれらに付帯する業務
資本金	1億4百万円

**【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)**

会社名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム 証券コード: 3769)
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代表者	代表取締役社長 相浦 一成
事業内容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資本金	133億23百万円

**【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)**

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム 証券コード: 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業                      ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業                      ■暗号資産事業
資本金	50億円

Copyright (C) 2022 GMO Epsilon, Inc. All Rights Reserved.